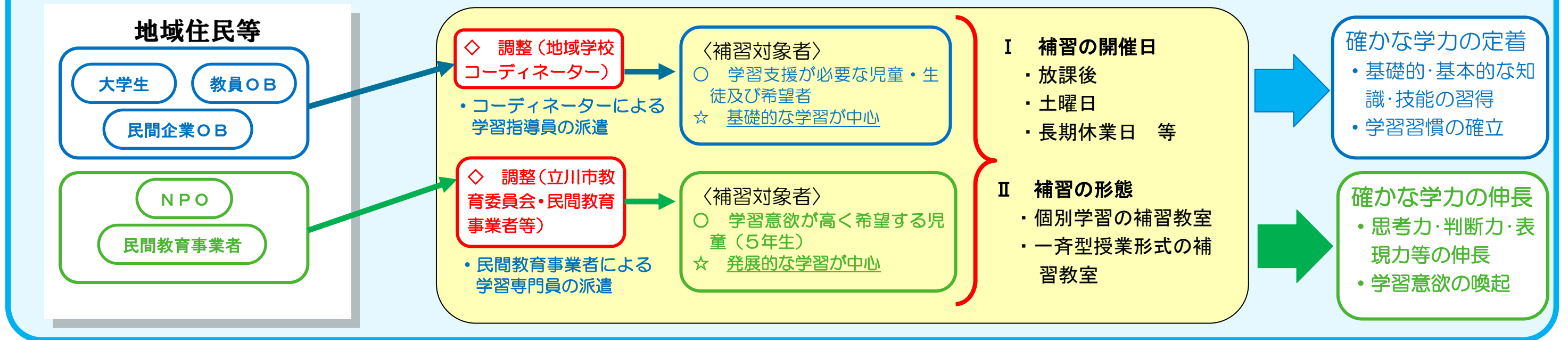


地域未来塾の展開～地域学校コーディネーター等による多様な地域人材の活用～補習教室の実施～ 国・都・市：各 1/3



スタディ・アシスト事業の展開〈中学校3年生への進学支援〉～補習教室の実施～ 都：10/10

- I 目的・対象：学習意欲の高い一方、学習機会や学びに課題のある中学3年生を対象として、進学支援を実施する。全校で150名程度
- II 講師・教科：民間教育事業者、英語・数学
- III 場所・期間：全ての市立中学校、9月から1月末まで（週2回程度）
- IV その他：進路希望に応じた個別相談等も実施

- ・学校は、本事業を通じて民間企業のもつ指導方法や進学等に関する専門的なノウハウを吸収しながら、授業力向上・進路指導の充実を図る。
- ・市教育委員会は、学校担当者や受託企業等を構成員とする「連絡協議会」を開催し、カリキュラムの開発や指導方法の改善について協議する。
- ・市教育委員会及び受託企業等は、事業の進捗状況を把握するとともに、多角的に効果検証を行う。

日本英語検定協会による英検 IBA (Institution Based Assessment) の展開～市内全中学校・全クラスで実施～ 協会 10/10

英検 IBA

英検協会が英検の問題を利用したリーディング及びリスニングテスト。平成15年から平成26年末までは「英語能力判定テスト」の名称で実施され、累計148万人以上が受験している。4技能の育成が求められていることを考慮し、リーディングとリスニングの出題比率及び配点比率がほぼ均等になっている。※CSE(Common Scale for English)とは、CEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)に対応した尺度。

	R: Reading	L: Listening	中3レベル	中2レベル	中1レベル
TEST	TEST A	略	TEST D	TEST E	TEST F
英検(目安)	準1・2級	—	3級～5級	4級・5級	5級
※CSE尺度	1440	—	1000	800	600
問題数/試験時間	R35問25分 L30問20分	—	R35問25分 L30問20分	R35問25分 L25問20分	R20問20分 L25問25分

- ◇分野
- 語い・熟語・文法
 - 読解
 - リスニング

※今後、「英検 IBAスピーキングテスト」の実施を予定している。

① CSEスコア導入で学習到達度と伸長度を把握！
生徒は学習目標の設定に、教師は指導の目安として活用できる。

② 授業で導入「試験時間45分」！
「英語能力判定テスト」では、50分～55分程度の試験時間を要していた。

③ フィードバック⇒授業改善・施策に反映！
生徒一人一人・学校・市全体のデータ・傾向(強み・弱みの領域)・英語力を把握できる。⇒授業改善・施策に反映させる。